

スラムダンク奨学生 村上駿斗さん

アメリカでNBAに挑戦!!

3月16日、パレス松風において、村上駿斗さん（浅立）のアメリカバスケットボール挑戦激励会が開かれました。

「スラムダンク奨学金」とは、高校バスケットボールを描いた漫画「スラムダンク」の作者である井上雄彦さんの「読者と、バスケットボールというスポーツに恩返ししたい」との思いから設立された奨学金制度です。日本の高校を卒業後に、大学、あるいはプロを目指し、アメリカで競技を続ける意思と能力を持っている若い選手を支援するもので、第7期のスラムダンク奨学生として村上さんが選ばれました。

村上さんは、バスケットボール一家に育ち、白鷹東中1年時にジュニアNBA日本チームのメンバーに選ばれ渡米した経験があります。NBAでのプレーに挑戦したいの思いから、山形南高3年の昨年秋に奨学生に応募し、最終選考ではアメリカでの実技試

験を突破しNBA挑戦へのチャンスをつかみました。

激励会は、白鷹町バスケットボール協会が主催し、これまでの指導者の方々も激励に駆け付けました。白鷹ミニバスケットボールスポーツ少年団の後輩たちより、「アメリカに行ってもがんばってください」と花束が贈られると、村上さんから「白鷹ミニバスケット少初の全国大会出場を期待しています。お互いがんばりましょう」と記念品が贈られました。

村上さんは、3月23日に渡米、4月から14カ月間、アメリカコネチカット州のプレップスクールで勉強とバスケットボールを学びます。



▲山形南高バスケットボール部の細谷監督も激励



▲村上さんから白鷹ミニバスケット少の後輩たちにエールが送られました

【村上さんの決意】

NBA選手になるという幼い頃からの夢を実現すべく、アメリカへの留学を決意しました。アメリカでの生活はたいへんなこともあろうかと思いますが、NBAの舞台を目指し前向きに挑戦したいです。

今回のNBA挑戦のチャンスを手にできたのは、これまで指導してくださった先生方のおかげです。支えてくださった方への感謝の気持ち忘れず、アメリカで精一杯チャレンジします。

白鷹山情報

5勝2敗の好成績!



大相撲一月場所
(3月9日〜23日)

取組	星取	決まり手
2日目	○	突き出し
3日目	●	寄り切り
5日目	○	突き出し
7日目	●	押し出し
10日目	○	叩き込み
11日目	○	押し出し
13日目	○	突き出し

東幕下57枚目 5勝2敗

今場所を振り返って

(白鷹山のコメント)

今場所は幕下に上がり初めての好成績で、5勝2敗という好成績で終えることができました。最近、勝ちを意識しすぎて尻込みするような相撲でしたが、兄弟子からの「自分の相撲を大事にしろ」の言葉通り、真つ直ぐ突き押し自分らしい相撲がとれたと思います。大阪場所では声をかけて応援してくれる方も増えたので、これからも皆さんの応援に恥じぬよう頑張ります。

成績優秀者に激励金

3月19日から21日にかけて岩手県安比高原スキー場で開催された 第8回全国小学校アルペンスキー大会に出場した3人の小学生に「成績優秀者激励金」が交付されました。

3人は、「少し緊張したけれど、いつものように滑ることができた」「楽しく滑ることができた。来年も全国大会を目指してがんばりたい」と話してくれました。

【第8回全国小学校アルペンスキー大会出場】

大滝覇功さん 荒砥小4年
後藤美桜さん 荒砥小5年
海老名美来さん 鷹山小6年



左から、海老名美来さん、後藤美桜さん、大滝覇功さん